

『体験と交流を通して豊かな心を育む』

あま市立甚目寺西小学校

1 目的

校訓「明るく やりぬく たくましい子」のもと、様々な人との交流を通して、互いを思いやることの大切さや知る喜びを実感させたいと考えました。併せて、コミュニケーション能力の向上や、人との関わり方を学ぶ場を設定しました。

2 内容

(1) 体験と交流を通して

ア 異学年交流活動

ペア学年活動をはじめとする交流活動も9年目を迎えました。高学年が低学年に読み聞かせを行ったり、図工の授業で作ったおもちゃの遊び方を教えてあげたりするなど、例年の活動にも見直しや工夫を加え、学年を越えた温かな関わり場の場となっています。

2年生では、4月の学校探検で出会った1年生に何かしてあげられることはないか考え、児童自身の発案で「スイミー」の発表会を開きました。相手への思いやりの気持ちや自己肯定感が高まる活動となりました。



【遊び方を教える様子】

イ モノ作り体験出前授業

地域の和菓子職人であるとくら総本店社長を招き、6年生が和菓子作りの実演を見たり、職業講話を聞いたりしました。普段何気なく口にしている和菓子には、名前一つとっても物語や思いが込められていることを知りました。実演に歓声を上げたあとは、お菓子作りのコツを教えてもらいながら鬼まんじゅう作りに挑戦をしました。



【職人の技に見入る様子】

ウ スリーハート運動

規範意識の高揚と人権モラル向上をめざした「スリーハート運動」に、今年度も取り組みました。児童と保護者、地域の方々から標語作品を募集し、選ばれた3作品を1枚のポスターにまとめ、高学年の児童が近隣の公共施設や商業施設等へ出向いて、掲示のお願いをしました。

エ マロニー小学校との交流

アメリカ・マロニー小学校との交流活動は9年目となりました。5年生が外国語の授業の中で、英語で愛知県を紹介するカードを作成しました。地域の文化や郷土料理だけでなく、自分の好きなものも紹介する楽しいカードとなりました。

(2) 教師力アップで子どもたちの成長と幸福を

ア 合唱指導

今年度も堀田みどり先生を講師に招き、児童を対象にした合唱指導をしていただきました。発声法のみならず、児童の気持ちをのせる声かけや練習方法などは教師にとっても学ぶところが多く、指導の参考になります。

イ 関わりの力を育てる研修

名城大学教授の曾山和彦先生をお招きし、校内研修を行いました。関わりの力を高めることをねらいとした「にしっこタイム」を取り入れて3年目、提唱者の曾山先生から、改めて「にしっこタイム」の意義や学年に適した取り組み方についてお話を聞き、教師もそれぞれの学級のやり方を振り返りました。

「関係づくりは相手に関心をもつこと」
「子どもは声に出さなくても心ではしゃべっている」という言葉が心に残りました。



【校内研修の様子】

3 評価

今年度は延期を重ねていた「モノづくり体験活動」を実施することができました。職業講話では、地域に根ざした歴史ある和菓子店の職人さんのお話を聞くことができました。児童からは、和菓子についてだけでなく、「修行の中で一番大変だったことは何ですか」など、仕事をする上での苦労や喜びについての質問が多くされました。将来について考えるきっかけにもなったと思います。

学校評価アンケートにおいても自身の心の成長を実感していると答える児童が多く、活動の効果を感じています。

4 課題

体験や交流を軸とした活動は児童の心を育てる上で非常に有効ですが、限られた授業時間の中で実施するためには、工夫や取捨選択が必要です。この5年間で、児童数は150名、学級は6クラス増加しました。活動も現状に合わせて変化させていかなければと考えます。